

会員みなさんへ

障害者医療問題全国ネットワーク事務局

まいど、番頭です。ところでみなさんはビールを注文する時“生”派ですか？“瓶”派ですか？番頭は瓶ビールを注文して“生”のジョッキをお願いしていただいております。その訳は番頭がよく行く中華料理店では中瓶 450 円なのに対して中ジョッキ 600 円なのです。しかも量は瓶のほうが多い。つまり 2 本頼めば 300 円も違う、これが 1 年 365 日なら 109,500 円も違う！これはもはやセコロジーです。セコイジジイという話もありますが…。さて、瓶と生のグラスの大きさに違いについて番頭なりに思うのですが。まず瓶ビールについてくるグラスは大きくても 1 合までです。そして、生ビールについてくるのは“中”で大体 500ml です。そのグラスの違いは呑口の曲率です。瓶のグラスの呑口が小さいためきつく、口をつけた時に注がれる量は少ないです。ところが、ジョッキの呑口はゆるく口をおおきく開けるため注がれる量は多くなります。結局、生の方は短時間に量を呑めるため喉越しのよさをたのしめます、瓶の場合はお料理をたのしみながら呑めるため高級なビールに小さなグラスで出されるのかと番頭は思っております。ちなみに缶ビールについては旅のお供やご家庭用にお手軽に瓶ビールの的にも生ビールの的にも楽しめるものかと思えます。時々アルミ臭いという人もいますが番頭にはわかりません。缶も瓶もグラスへの注ぎ方は S トリーの P レミアムビールの CM を参考にすればよいかと思えます。さて、みなさんは E ビスの瓶のラベルに数百本に 1 本しか存在しないラッキー E ビスというのがある



のをご存知ですか。左のラベルがラッキー E ビスです。ほら、魚籠に鯛がもう一匹は入っているでしょ。番頭は最近発売されたシルク E ビスがお気に入りになりました。

(番頭の独り言)

